

# 広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

# 8月号

No.196 (R5.8.8)



## もくじ

### ★おしらせ★

第1回 学術講演会のお知らせ ..... 1

### 行事報告

第38回 おくちの健康展 ..... 1

広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い ..... 2

令和5年度 広島市学校保健会第2回 理事会及び表彰審査委員会 ..... 2

第54回 十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会 専務理事会議 ..... 3

### 支部だより

中区支部 ..... 3

東区支部 ..... 6

南区支部 ..... 7

西区支部 ..... 8

### ちょっとイイ話

休日診療保険請求における留意事項について(総務部) ..... 8

薬剤関連顎骨壊死の病態と管理について(学術部) ..... 9

新厚生部挨拶(厚生部) ..... 12

～ハハ姉妹の学校ニュース《4時間目》「カミング 30 (ひ・み・こ・の)」～(地域歯科保健部) ..... 12

### 各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部) ..... 13

RCC おひるーな・プラス 出演(地域歯科保健部) ..... 13

今月の知っておきたいこと(広報部) ..... 14

YouTube(広報部) ..... 15

FM ちゅーピー(広報部) ..... 16

LINE 公式アカウント 友達募集 ..... 16

会長コラム『笑門來福』言葉 ..... 17

7月定例理事会報告 ..... 18

# ★おしらせ★

## 第1回 学術講演会のお知らせ

柳本教授は、口腔癌に造詣が深く講演される機会も多いので、会員の先生方におかれましては聴講されたことがある方もおられるかと思えます。それと並立して柳本教授は2000年代初頭より睡眠時呼吸障害に対して口腔内装置の改良を重ねてこられました。その経験と知識は、先生方の診療の一助になると思えます。

申込書は次回日より9月号に同封させていただきます。

日時：10月13日(金)午後7時30分

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

演題名：睡眠呼吸障害における口腔内装置による治療の役割

演者：広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学 柳本惣市(やなもと そういち)教授

## 行事報告

### 第38回 おくちの健康展

日時：6月11日(日)午前10時

場所：そごう広島店「本館屋上ステージ」

過去3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や縮小開催をしてきたが、4年ぶりに規制のないフルスペックで上記イベントが広島市歯科医師会、広島矯正歯科医会、広島県歯科衛生士会、広島県歯科技工士会広島支部、広島県栄養士会の主催で開催された。

また、そごう広島店、(株)モリタ、バイオガイアジャパン(株)、(株)四国乳業、シャボン玉石けん(株)、グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパンが協賛として、さらに広島県歯科医師会、広島市保健所、広島市中・東・南・西保健センター、広島市教育委員会、広島市私立幼稚園協会、中国新聞社、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FM ちゅーピー76.6MHzに後援していただいた。

今回は「おくちの健康がからだを守る！」というテーマを挙げ、コロナ禍を乗り越え、マスクの着用も個人の判断に委ねられる時期になった今、改めてお口の健康の重要性を市民の方に考えていただくきっかけ作りになることを目標とした。

会場では、本会が細菌数測定、口臭測定、位相差顕微鏡の体験ブースを担当し、他にも広島県歯科衛生士会、広島県歯科技工士会広島支部、広島県栄養士会、広島臨

床小児歯科研究会、広島矯正歯科医会からもそれぞれブースを出していただいた。

ブースを体験しながら回るプレゼント付きチェックラリーや歯っぴープレゼント抽選会、「それいけ！アンパンマンショー」の催し物もあり、最終的には近年では最多の2,614名の方が来場された。一時入場制限を実施するほどブースも大盛況で密になることへの懸念もあったが、パーティションやサーキュレーターの設定、また待機列に十分な間隔を保つなどの感染予防措置を徹底し、大きな混乱もなく円滑に運営された。

今後も本会では同イベントを通じて市民への公衆衛生活動を行っていく所存である。



出務者集合写真

## 広島市歯科医師会 広島東洋カープ観戦の集い

日時：7月5日(水)午後6時

場所：MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島「PARCO パーティーベランダ」

本会主催の広島東洋カープ観戦(広島対阪神)の集いが開催された。新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に移行して初めての開催でもあり、144名の方にご参加頂き、盛大に催された。

当日は試合開始直前まで大雨に見舞われ、開催が危ぶまれたが、参加者の想いが通じたのか、試合前には晴れ間が広がり無事試合開始となった。

試合は壮絶な投手戦となった。阪神先発は防御率1点台の大竹投手であり、広島打線を完璧に抑えていった。広島先発の森下投手も好投を見せるものの、初回到浴びたホームランと、3回に奪われた1点が最後まで響き、惜しくも広島の敗戦でゲームセットとなった。

試合は残念な結果であったが、多くの歯科医師会会員らで埋め尽くされた PARCO パーティーベランダの熱気

は凄まじく、7回裏の攻撃の際には一丸となって「それ行けカープ」を熱唱し、ジェット風船がフロア内を赤一色に染め上げていたのが印象的であった。



応援的一幕

## 令和5年度 広島市学校保健会 第2回 理事会及び表彰審査委員会

日時：7月7日(金)午後7時30分

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会において役員の変更が協議され、本会の瓜生賢会長が広島市学校保健会副会長に選出された。表彰審査会においては、今年度の広島市学校保健功労者の表彰・永年勤務の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に対する感謝状・広島市学校保健推進学校の表彰・広島市学校保健研究物の表彰について審査が行われた。その結果、

本会会員からの本年度の受賞が下記の通り決定された。8月3日に開催される第63回広島市学校保健大会において受賞式が執り行われる予定である。

なお、この会議には本会より、瓜生会長、細原賢一理事、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長が出席した。

広島市学校保健功労者

似島小学校 石川 潔 先生      宇品中学校 谷 徹範 先生

永年勤務学校歯科医

吉島小学校 波田 佳範 先生



日時：7月8日(土)午後2時

場所：「ステーションコンファレンス川崎」

十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会は、川崎市、熊本市、名古屋市、神戸市、北九州市、広島市、札幌市、福岡市、仙台市、さいたま市、岡山市、横浜市、新潟市の13指定都市の歯科医師会で構成される協議会で、共通した地方自治体と関連のある都市の市民の保健・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与し、各都市にて大規模災害が発生した時に、相互扶助の精神に基づきお互いの支援活動をするものである。10月7日(土)に開催される第54回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会の事前打合せとして森本慎樹専務理事が出席した。



会議の様子

## 支部だより

### 中区支部

「広島市歯科医師会だより 第195号」におきまして、一部印刷に誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

P.10「令和5年度 広島市歯科医師会 中区支部総会」

中区支部役員一覧

追加 監事 石嶋誠司

会員の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

### 広島市中区厚生部地域支えあい課主催 歯周病予防教室

日時：6月29日(木)午後1時30分

場所：中区地域福祉センター 5階「大会議室」

標記の行事が開催され、尾山奈々子地域歯科保健部委員が「おいしく食事を摂り続けるために」と題して中区老人クラブの高齢者54名に対して講演を行った。

講演では最初にむし歯や歯周病を放置することで症状が進行し歯の欠損に繋がること、歯周病と全身疾患との関わりについての話を行った。歯の欠損に対しては義歯を使用する等により口腔機能の回復を行いしっかり噛めるようにすること、また日頃から口腔のメンテナンスを行い維持していくことが全身の健康やフレイルの予防に

も関わるため、かかりつけ歯科での定期健診、オーラルフレイルの早期発見・早期対応が大切であることを説明した。プロフェッショナルケアと併せて、セルフケアも重要であり、方法についても詳しく伝えた。

次に日本人の死因の第6位が誤嚥性肺炎であり、高齢になると摂食嚥下機能が衰えることにも一因があるといわれているので、舌の運動機能の維持に効果的なペコぱんだの使用法やオーラルディアドコキネシスによる評価について説明した。また、演者の実演に合わせてマス

ク下で発声する実習を行い、あいうべ体操などの口腔体操も紹介した。

その後、安田歯科衛生士がセルフケアの仕方について具体的な説明を行い、講演を終了した。

本会では今後もこのような講演活動を通じて、地域住民への公衆衛生活動を行っていく所存である。



講演の様子

## 令和5年度 基町・幟町圏域多職種連携会議

日時：6月30日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が「基町・幟町圏域の医療・介護事業所紹介～聞いてみよう！医療・介護サービスの実際～」というテーマで、実開催と YouTube 配信によるハイブリット形式で開催された。

大橋信之基町・幟町圏域在宅医療推進リーダー医師が開会の挨拶をされ、各事業所紹介が行われた。事業所は「広島市立市民病院」「広島はくしま病院」「宮川眼科」「おしりおなかクリニック八丁堀」「デイサービスふじ白島」「悠悠タウン基町小規模多機能居宅介護支援事業所」の順で発表され、各々の事業所での地域連携の取り組みや特徴について述べられた。中でも「おしりおなかクリニック八丁堀」の吉田誠医師による痔の話が印象的であった。身近でかつなかなか発信されにくい痔の専門的な話が、漫画を通すことで分かりやすく理解できた。

質疑応答で会場は非常に盛り上がり、大橋信之医師が閉会の辞を述べられた。

なお中区支部からは香川次郎氏、加藤千季氏、辰本将哉氏、森田薫氏が会場参加。Webでは波田佳範中区支部長、小松大造氏が参加した。



会議の様子

## 第18回 吉島圏域多職種連携会議

日時：7月14日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が開催された。

今回の会議のテーマは「災害・今そこにある危機」という内容で、吉島地区で自然災害が発生した場合を想定して、まず何をすべきか、それから江戸時代から令和にかけての吉島地区で発生した自然災害の歴史、そしてどのような行政サービスがあるのか、防災に対する事前準備の重要性などが取り上げられたのであった。

講演内容は、総論として「防災士から専門職に期待する役割」という演題で、広島市防災ネットワーク広島県自主防災アドバイザーの小松宏防災士より、災害の種類

から防災の定義、災害弱者の支援など多岐にわたる講演が行われた。それ以降は各論となり、「吉島の災害 過去に学ぶ」という演題で、田丸卓弥田丸整形外科院長より江戸時代から令和にかけての自然災害の報告があった。その殆どが太田川による氾濫であり、その災害は広島市のデルタ地帯だけではなく、上流の安佐北区の落合にも及んでいたとのことであった。特筆すべきは昭和42年の太田川放水路完成により氾濫による水害は発生していないとのことであった。しかし、平成3年の台風19号による高潮被害、これから起こるとされる南海トラフ地

震など予断を許さないとのことであった。続いて岡崎貴光吉島包括支援センター長より、「災害に対する現状及び課題について」、高橋浩一折口医院院長より「防災に対する事前準備の大切さ」という演題で講演が行われた。

今年の7月の梅雨時期における異常降雨、線状降雨帯の発生など日本列島のどこかで自然災害が発生している昨今において、本日の「今そこにある危機」のテーマは、非常に興味深い内容であった。

なお、この会議には中区支部より、波田佳範支部長、加藤千季氏、小松大造氏、辰本将哉氏が出席した。



会議参加者と講師陣

### 第40回 健康ソフトボール大会 第1回 郡市地区代表者会議

日時：7月19日(水)午後7時30分

場所：県歯会館 5階「501、502会議室」

標記の会が開催された。

田嶋真県歯会福祉厚生・育成部の委員長の司会進行の下、栗栖文夫県歯会理事より、報告協議事項として、(1)郡市地区歯科医師会へのアンケート結果 (2)クラス別のチーム編成 (3)大会の運営方法などが上程され、各地区代表者から活発な意見が出された。

今回特に問題となったのは、新型コロナ禍で中止となった4年間で、各郡市会のソフトボール大会への考え方に温度差が生じたことであった。それにより、参加者の激減などが見込まれ、以前ABCと3クラスあった構成がABの2クラスになった。Aクラスは1チーム減の7チームとなった、そのためBクラスよりどのチームを昇格させるかという議論になった。地域の偏りが生じないことと、過去の実績から広島市中区が昇格する運びとなった。加えて参加チーム減により、Aクラスのトーナメ

ント形式、Bクラスのリーグ戦方式の試合数減となるため、試合制限時間がABに関わらず、50分ということが確認された。

なおこの会議には、本会からは波田佳範中区支部長が出席した。



会議の様子



## 令和5年度 広島市歯科医師会中区支部夏季懇親会

日時：7月22日(土)午後6時30分

場所：広島アンデルセン 5階「スカンジナビアホール」

標記の会が開催された。

夏季懇親会は、新型コロナ禍のため、実に3年ぶりの開催の運びになった。この期間に入会を果たしたフレッシュな顔があれば、実に懐かしい顔と多士済々の面々が集った。

中区支部の花木清隆氏の司会進行の下、開会の辞は波田佳範支部長が務めた。その後本年度入会した河村道彦氏、前野大輔氏、川合晶子氏と、中止期間(令和2年か

ら令和4年)に入会した河島紘太郎氏、延本全彦氏、有田竜二氏、吉岡英将氏の紹介を行った。引き続き瓜生賢会長より来賓挨拶を賜り、乾杯の音頭を最年長の松原弘明氏が取り、宴が始まった。

途中、小島将督氏の司会進行によるビンゴ大会が行われ、各テーブルから歓喜や悲鳴に近い声が聞かれた。

閉会の辞を、平田誠副支部長が務め、記念撮影を行い、閉会した。



(左) 参加した中区支部会員 (右) 瓜生賢会長の挨拶

## 東区支部

### 令和5年度 第1回 二葉圏域医療と介護・地域の多職種連携会議

日時：7月6日(木)午後2時

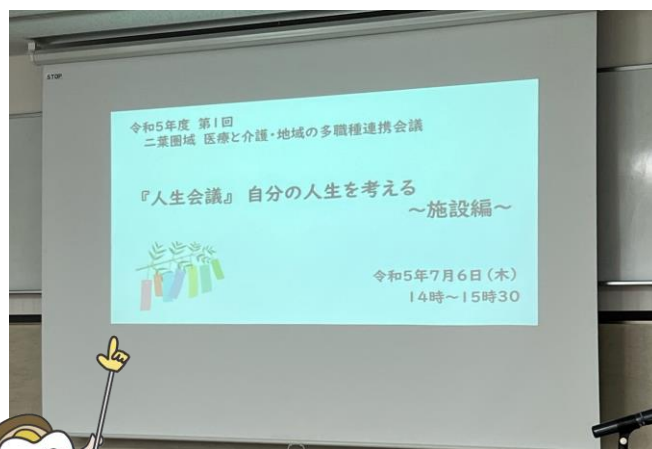
場所：東区総合福祉センター 3階「大会議室」

令和5年度は、「自分の人生を考える」シリーズを7月と1月に、2回に分けて開催とのこと。

今回は、『人生会議』自分の人生を考える～施設編～

老後の施設で、暮らすのにどんな種類の施設があるのか？どうやって探すかを宮長克成老人ホーム・介護施設紹介センター「りんどうの家」センター長より説明された。また、グループホームで、最後まで穏やかに暮らすか？看取りについて山田とみ子医療法人好緑会教育研修課より話があった。その後、グループにて意見交換がなされ金谷雄生広島市東区医師会会長より挨拶があり閉会となった。

なおこの会議には、岩井敏之支部長、尾崎昌康副支部長が出席した。



会議の様子

## 南区支部

### 令和5年度 広島市歯科医師会南区支部総会

日時：6月29日(木)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記の会が開催され、南区会員20名が参加した。

開会の辞のあと河原支部長による挨拶があり、任期がコロナ禍と重なり思うような活動ができなかったことなど、忸怩たる思いを語られた。

続いて、退会・新入会などの会員動向や、新役員の紹介があった。

また、中川誠氏から、現在南区医師会との間で医科歯科間の診療情報の連携を円滑にするツールの1つとして“南区医科歯科 FAX 連携用紙”が協議されていることの報告があった。

その後、協議事項として令和4年度の事業報告・会計報告があり、次に令和5年度の事業案と会計案が竹田茂新支部長より上程され、可決された。

また、コロナ禍による活動縮小の結果、繰越金が増大したため、これを特別会計に移し、臨時出費に備えることとした。

最後に、会員の意見を拾う仕組みを今後協議することとし、閉会となった。



総会の様子

## 西区支部

### 古江元東緑寿会講演会

日時：6月15日(木)午後1時

場所：JA 広島 古江支店「会議室」

地域の老人会である古江元東緑寿会と広島市古田地域包括支援センター共催の上記講演会が開催され、「長寿の秘訣は口にあり、お口から始める介護予防」と題して、森川英彦地域歯科保健部副委員長が西区古田圏域の地域住民10名を対象として講演を行った。

講演ではオーラルフレイルの症状と対策方法、フレイル進行の要因となる社会参加や運動の有無と口腔の関係などについて講演した。また参加者にはオーラルフレイルの評価法であるRSSTや舌圧測定のほか、ペコぱんだを用いた実習、歯間ブラシなどの補助清掃用具の使い方の実習も行った。さらに詳細な説明や予防を希望される場合は、広島市の短期集中通所口腔ケアサービス事業があることも伝えた。

参加者からは「孫と箸は分けたほうがいいのか」「口の中の細菌の数はどこで測れるのか」「親知らずは抜いた方がいいのか」など予定時間を超過して多くの口腔に関する質問も出され、和やかな雰囲気終了した。

今回の参加者は定期的にメンテナンスに通院している方が殆どであったが、オーラルフレイルや口腔ケアへの関心の高さや、より深い知識を求めるニーズに気付かされる結果となった。本会では今後も同様の講演会を通じて、地域住民に対して啓蒙活動を継続していく所存である。



講演をする森川英彦氏



## 観音圏域 令和5年度「観音認知症応援団」

日時：7月13日(木)午後2時

場所：生協けんこうプラザ 5階「会議室」

標記の会が広島市観音地域包括支援センターの参画で地域の医師・歯科医師・薬剤師・看護師・西区支えあい課・警察官・ケアマネージャー・施設職員等の専門職の方々、民生委員・認知症世話人会をはじめ地域の住民合わせて75名参加で開催された。(少数のZoom参加を含む。)

「観音認知症応援団」は平成28年12月に“認知症になっても安心して歩ける街づくり”を目指して、認知症について理解を深め、専門職・地域住民が連携し、それぞれの立場から地域でできることについて考え、対応力を身に付けようという目的で発足し今年で7年目になる。

今年のテーマは“地域で遭遇する可能性の高い事例をもとに考える”である。認知症などの行方不明者は昨年、全国で18,700人を超えた。観音圏域でも一昨年、道に迷われ警察に保護され包括支援センターに連絡があった方が10人いた。そこで今回、太田清美元広島県警警部

補・認知症アドバイザーを講師に招いた。実際の警察の対応を学び「道に迷っている高齢者に気づいたときあなたならどうしますか？」というテーマについてグループで討論した。まとめとして、①声掛けをして認知症が疑われるようであれば速やかに警察に通報すること。②家族が行方不明になった場合も、できるだけ早い段階で警察に通報すること。③警察の捜索にあたり「西区はいかい高齢者等 SOS ネットワーク」に事前登録しておくこと。などが理解できた。また、認知症の予防にとって口腔(歯周病)ケアが重要であることも教示された。

地域コミュニティの崩壊が叫ばれる今、自分の住む町に関心を持つことで地域コミュニティの再生にもつながることになり、我々歯科医師もこのような会に積極的に参加することの重要性を再認識した。

西区支部からは平尾慶太支部長が会場参加した。

## ちょっとイイ話

耳寄り情報

### 総務部

## 休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・上顎 2～2P の 1 ブロックのみでパノラマ撮影を算定しているものがありました。パノラマ撮影は、3ブロック以上の病名、またはデンタルでは撮影出来ない部位(上顎洞・顎関節等)を撮影した場合に算定する取扱いです。開口障害や嘔吐反射が強い場合等、特段の必要性が認められる場合についてはその旨摘要欄記載が必要です。
- ・カルテ 1 号用紙記載欄において、治療開始日を記載すると共に、義歯修理など当日にて終了するものに関しましては終了日にも記載が必要となります。

以上よろしくお願い致します。



大井手和久 理事

## 薬剤関連顎骨壊死の病態と管理について



花岡宏一 理事

会員用 LINE でも情報提供しましたが、顎骨壊死検討委員会より、ポジションペーパー 2023(PP2023)が示されました。前号は 2016(PP2016)です。それについて少し要約して掲載させていただきます。

本文はLINEでのリンク先、もしくはこのQRコードの場所にありますので、詳細に調べたい方はそちらをご一読ください。

ここでは、掻い摘んで書かせて頂きます。



PP2023 の特色としては以下のようになります。

- ①PP2016 では顎骨壊死の呼称は antiresorptive agent-related osteonecrosis of the jaw (ARONJ)とされていたが、本ポジションペーパー(PP2023)では **薬剤関連顎骨壊死 (medication-related osteonecrosis of the jaw, (MRONJ))**とした。
- ②MRONJ の診断において、潜在性・非骨露出型病変である **ステージ 0 は診断基準(骨露出)を満たさないことから、分類としては残すものの、診断・統計から外すこととした。**
- ③PP2016 ではステージ別に画像所見が記載されていたが、別項目として画像診断を記載した。
- ④PP2023 では、**用量別、薬剤別や投与間隔の違い等における本邦での最新の MRONJ の発症頻度を調査・記載した。**
- ⑤抜歯をはじめとした **外科手術前の予防的休薬の是非については未だ明確な回答が得られていなかったことから、本委員会はシステマティックレビューを行い、現状でのエビデンスに従う推奨を提示した。**
- ⑥PP2016 では、ステージ 1 は保存的治療、ステージ 2 はまず保存的治療を施行し、難治例に対して抗菌薬療法および外科的治療を考慮、ステージ 3 は外科的治療が主な治療法として記載されたが、近年、ステージによらず外科的治療が有効であるというエビデンスが集積していることから、**新しい治療戦略を明記した。**
- ⑦MRONJ の予防に際して医科歯科連携が重要であるが、PP2023 では、連携に不可欠な処方医からの情報および歯科医からの情報を明記し、医歯薬連携の実例を提示した。

少し補足させていただきます。

### ① に関して

MRONJ の定義については以下のように書かれています。

以下の 3 項目を満たした場合に MRONJ と診断する。

- 1、BP や Dmab 製剤による治療歴がある。
- 2、8 週間以上持続して、口腔・顎・顔面領域に骨露出を認める。または口腔内、あるいは口腔外から骨を触知できる瘻孔を 8 週間以上認める。(8 週以内でも明らかに治癒傾向の無い骨壊死がある場合は MRONJ の診断を行う)
- 3、原則として、顎骨への放射線照射歴がない。また顎骨病変が原発性がんや顎骨へのがん転移でない。

### ② に関して、MRONJ のステージングは表 1 のようにされています。

ステージ 1	無症状で感染を伴わない骨露出 / 骨壊死またはプローブで骨を触知できる瘻孔を認める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下顎隆起や顎舌骨筋線後方の骨露出 (根尖病変や埋伏歯による感染由来を否定)</li> <li>・ 義歯性潰瘍由来</li> <li>・ 歯性感染が (ほぼ) 全くない歯の自然脱落</li> <li>・ 抜歯後ドライソケット様で排膿なし</li> </ul>
ステージ 2	感染 / 炎症を伴う骨露出 / 骨壊死やプローブで骨を触知できる瘻孔を認める。 発赤、疼痛を伴い、排膿がある場合とない場合とがある。
ステージ 3	下記の症状を伴う骨露出 / 骨壊死、またはプローブで骨を触知できる瘻孔を認める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下顎では下縁や下顎枝に至る骨露出 / 骨壊死</li> <li>・ 上顎では上顎洞、鼻腔、頬骨に至る骨露出 / 骨壊死、鼻・上顎洞口腔瘻形成</li> <li>・ 病的骨折や口腔外瘻孔</li> </ul>

\* 潜在性・不確定病変(いわゆるステージ 0)は「分類」としては残すが、MRONJ の診断基準(骨露出・瘻孔)を満たさないことから、PP2023 年から MRONJ の診断・統計から外すこととした。

③ に関して、画像診断については写真と一緒に PP の 6 ページから 9 ページに載っているのをそちらを参考にしてください。

④ に関して、付表にまとめておりますのでそちらを参考にしてください。

付表 添付文書、医薬品リスク管理計画 (RMP) で顎骨壊死について注意喚起されている医薬品

① 骨吸収抑制薬 (ARA)

分類	一般名	高用量 / 低用量	主な商品名	使用目的	リスク (●数が多いリスク高)	
ビスホスホネート	ゾレドロン酸水和物	高用量	ゾメタ点滴静注 ゾレドロン酸点滴静注	・多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変 ・悪性腫瘍による高カルシウム血症	●●●●	
		低用量	リクラスト点滴静注液	・骨粗鬆症	●●	
	バミドロン酸二ナトリウム水和物	高用量	バミドロン酸二 Na 点滴静注用	・乳癌の溶骨性骨転移 ・骨形成不全 ・悪性腫瘍による高カルシウム血症	●●●●	
	アレンドロン酸ナトリウム	低用量	フォサマック錠 ボナロン (点滴静注・錠・ゼリー) アレンドロン酸 (点滴静注・錠)	・骨粗鬆症	●●	
	イバンドロン酸ナトリウム水和物	低用量	ボンビバ (静注・錠)	・骨粗鬆症	●●	
	ミノドロン酸水和物	低用量	ボノテオ錠 リカルボン錠 ミノドロン酸錠	・骨粗鬆症	●●	
	リセドロン酸ナトリウム水和物	低用量	アクトネル錠 ベネット錠 リセドロン酸 Na 錠	・骨粗鬆症	●●	
	エチドロン酸二ナトリウム	低用量	ダイドロネル錠	・骨粗鬆症 ・脊髄損傷後、股関節形成術後における初期及び新後期の異所性骨化の抑制 ・骨ページェット病	●	
	抗 RANKL モノクローナル抗体	デノスマブ	高用量	ランマーク皮下注	・多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変 ・骨巨細胞腫	●●●●
			低用量	プラリア皮下注	・骨粗鬆症 ・関節リウマチに伴う骨びらんの進行抑制	●●

② その他の医薬品

分類	医薬品名
ヒト化抗スクレロスタチンモノクローナル抗体	ロモソズマブ
抗 VEGF 抗体	ベバシズマブ
VEGF 阻害薬	アフリベルセプト ベータ
マルチキナーゼ阻害薬	スニチニブリンゴ酸塩 カボザンチニブリンゴ酸塩
チロシンキナーゼ阻害薬	ニンテダニブエタンシルホン酸塩

⑤ に関して、委員会としては「原則として抜歯時に ARA を休薬しないことを提案する」としています。この提案の扱いは PP2023 の 15 ページからの「V.骨吸収抑制薬などの投与と歯科治療」の項をよく読んで各自で判断ください。また今後の課題として、「抜歯時の予防的休薬については、「原則として休薬しないことを提案する」としたが、抜歯以外の手術での対応や、きわめて MRONJ 発症リスクが高いケースでのごく短期間の休薬の是非についての検証が必要であろう。」とも書かれていることを申し添えておきます。



⑥ に関して、表4にまとめております。

表4 MRONJの治療	
ステージ1	保存的治療（抗菌性洗口液、洗浄、局所的抗菌薬の注入など）または外科的治療（壊死骨＋周囲骨切除など）
ステージ2	保存的治療と外科的治療（壊死骨＋周囲骨切除など）のいずれも適応されるが、外科的治療のほうが治癒率は高く、全身状態が許せば外科的治療を優先する 患者の状態や希望等により外科的治療が選択されない場合は、保存的治療（抗菌性洗口液、洗浄、抗菌薬全身投与など）を行う
ステージ3	外科的治療（壊死骨＋周囲骨切除、区域切除など） 患者の状態や希望等により外科的治療が選択されない場合は、保存的治療を行う

補足ではありませんが、MRONJのリスク因子も表でまとまっていたので転載しておきます。

表3 MRONJ発症に関わるリスク因子	
薬剤関連因子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビスホスホネートおよびデノスマブ（投与量；高用量＞低用量、累積投与量）</li> <li>・抗スクレロシン抗体製剤 ロモソズマブ</li> <li>・抗悪性腫瘍薬：殺細胞性抗悪性腫瘍薬、血管新生阻害薬、チロシンキナーゼ阻害薬、mTOR阻害薬</li> <li>・グルココルチコイド</li> <li>・免疫抑制薬：メトトレキサート、mTOR阻害薬</li> </ul>
局所因子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病、根尖病変、顎骨髄炎、インプラント周囲炎などの顎骨に発症する感染性疾患</li> <li>・侵襲的歯科治療（抜歯など）</li> <li>・口腔衛生状態の不良</li> <li>・不適合義歯、過大な咬合力</li> <li>・好発部位：下顎（47-73%）、上顎（20-22.5%）、上下顎（4.5-5.5%）、その他下顎隆起、口蓋隆起、顎舌骨筋線の隆起の存在</li> </ul>
全身因子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病</li> <li>・自己免疫疾患（全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、シェーグレン症候群）</li> <li>・人工透析中の患者</li> <li>・骨系統疾患（骨軟化症、ビタミンD欠乏、骨パジェット病）</li> <li>・貧血（Hb &lt; 10g/dL）</li> <li>・生活習慣：喫煙、飲酒、肥満</li> </ul>
遺伝的要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VEGF遺伝子、RBMS3遺伝子、SIRT1遺伝子のSNPs</li> </ul>

MRONJ発症のリスク因子として抜歯などの手術侵襲よりも顎骨の感染の存在を重視した(特に低用量において)。抜歯および歯科インプラント埋入手術以外の侵襲的歯科治療(歯周外科手術、歯根端切除術、骨隆起の除去など)については、十分なエビデンスがなくMRONJ発症との関連は不明であり、詳細な情報の蓄積によってMRONJの発症予防に有用かの検証が必要である。

## 厚生部

### 新厚生部挨拶

4年前、熊谷前会長のもと歯科医師会員の福利厚生を考える部として新設されたのが我々厚生部でした。しかし、コロナの流行により企画を実現することができませんでした。

そして新執行部のもと、厚生部も新体制になり今年はより一層、歯科医師会員の皆様のお役にたてるよう頑張ります。

広島県歯科医師会が発行した「100年の歩み」によりますと、県の厚生部は会員の健康管理と老後における生活設計を図る事を目的に誕生したそうです。そのためには会員相互の信頼と協調、そして和が求められ、会員間の親睦の充実を図るため、国保組合や協同組合などと連携を取りながら様々な活動を行ってきたそうです。

我々、広島市歯科医師会厚生部も会員間の親睦を深めるため、全世代の先生方、そしてその会員家族や自院のスタッフ、皆様と一緒に楽しめる企画を考えてまいります。広島市というくくりだからこそ実現できる事もあると思っております。

私自身、会を通じてたくさんの先生方と知り合えたことは財産だと思っております。皆様も1歩踏み出して是非ご参加してみてください。また、こんな企画がほしい！など要望がありましたらなんでも申し付けください。実現できるよう厚生部一同奮闘してまいります。



横村康彦委員長

#### ～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会より1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

## 地域歯科保健部

### ～ハハ姉妹の学校ニュース《4時間目》「カミング30 (ひ・み・こ・の)」～

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部野坂覚先生他が作成いたしました。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



# 各部からの報告

## 総務部

### 広島市医療安全推進協議会より 「こんな医療トラブルが起きています」

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

#### 事例1：義歯作製の治療期間について

旧義歯の不具合で受診したが、新義歯作製の治療期間の長さに納得がいかない。

(センターの対応)

治療内容や受診者の多い歯科医院の場合は治療期間がかかることをお伝えした。

(コメント)

現在の口腔内の状況や今後の治療の流れや期間を具体的に説明し、患者や家族が納得して治療を受けられるように心がけましょう。また、治療期間がかかる場合は旧義歯を応急的に修理するなど、患者への配慮を心がけましょう。

#### 事例2：診療前のうがい薬について

歯科治療前のうがい薬に説明されていない薬が入っているような気がする。

(センターの対応)

受診した歯科医院に使用した薬剤の種類を問い合わせることを勧めた。

(コメント)

うがい薬に関しては患者さんの好みやアレルギーなどがある可能性もありますので、うがいの前に使用する薬剤の説明と使用の可否を確認するよう心がけましょう。



## 地域歯科保健部

### RCC おひる一な・プラス 出演

日時：6月7日(水)午後2時10分

場所：「RCC 本社」

働く世代の健康をテーマとしたラジオキャンペーン「広島家族。元気じゃけんいきいきプロジェクト」に本会が協賛しており、その一環として RCC ラジオの番組「おひる一なプラス」が、標記の日時に放送され、森川英彦地域歯科保健部副委員長が出演した。

放送では「むし歯も歯周病も感染症」のテーマで、石橋真アナウンサー、田口麻衣アナウンサーとの対談形式で行われ、歯牙喪失の2大原因が感染症であること、新型コロナウイルス感染症との関係、口腔内細菌の数やう蝕原因菌と歯周病原性細菌の違いなどについて説明した。歯周病原性細菌には運動性桿菌などがあり、位相差顕微鏡で捉えた動画をご供覧したところ田口アナから悲鳴のような素晴らしいレスポンスがあり、リスナーの興味を十分ひきつけることができたと思われる。

それぞれの細菌の存在だけでなく、修飾因子があること、またその対策についても伝え、ホームケアに加えてプロフェッショナルケアの重要性についても説明した。

最後にお口の細菌チェックに関連して、6月11日に開催予定のおくちの健康展の告知を行い、リスナーに会場を呼びかけてコーナーを終了した。

本会ではこれからもさまざまな機会を通じて、口腔健康の向上のための啓蒙活動を行なっていく所存である。



左から石橋真アナウンサー、森川英彦地域歯科保健部委員、田口麻衣アナウンサー



記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

## ブックオフが「銀歯」の買い取りを開始

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f041874c45a30d01fb9cc484fd8b9d853e7989c4>



金歯の買い取りをしているのは、全国のブックオフで約 100 店舗程度。ここ 2 年ほどで金の異常高騰により、金への注目が世間的に高まってきた背景から、金の取り扱い自体は増えているが、金歯の持ち込み点は多くないと言う。

考察

脱離や除去した金属は、本来患者さんのものであるもので、希望があれば患者さんにお返ししなければなりません。

ん。除去した金属を医院で処分することの同意書をとっている医院もあります。記事によると、買い取りを行っているブックオフの店舗はまだ少数で、広告宣伝は行っておらず、店舗でのアナウンスのみとのこと。ただ、そもそも口の中にあるものを歯科医院では感染性の廃棄物として専門の業者に引き取ってもらいますので、患者さんが買い取り店に持ち込んで、店員さんが感染などしたら考えると大丈夫なのかと思いません。



柄博紀委員

## 令和 5 年 10 月からインボイス制度が開始！ 事業者が進めておきたい準備とは？

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202210/1.html>



このインボイス制度によって、消費税額等を正確に把握することができるほか、インボイスには消費税率や消費税額が記載されるため、売手は納税が必要な消費税額を受け取り、買手は納税額から控除される消費税額を支払うという対応関係が明確となり、消費税の転嫁がしやすくなる面もあると考えられます。

考察

このインボイス制度は、我々歯科医院にはあまり関係がないように思われがちですが、課税事業者である場合は、この登録番号を申し込む必要があります。

自分が免税業者なのか課税業者なのか今一度確認する必要があります

歯科医院における消費税の課税売り上げの対象となる収入は、自由診療収入、雑収入(歯ブラシなどの物品販売・金属屑の売却等)および、車両等固定資産の売却収入であり、保険診療収入は消費税が非課税とされています。

したがって、消費税の基準期間の課税売り上げ高が 1,000 万円以下の歯科医院は、消費税の免税事業者となりますので、インボイス発行事業者の登録申請書について提出の必要はありません。

なお、金属屑の買い取り業者が消費税の課税事業者である場合には、免税事業者である歯科医院はその金属屑の買い取り価額についてインボイスを発行できません。したがって、金属屑の買い取りの際に控除できない消費税相当の値引きの要請がなされることが考えられます。歯科医院の自由診療収入などの消費税の課税売り上げ高が 1,000 万円を超える場合には、消費税の課税事業者となりますので、インボイス発行事業者の登録申請書を提出して登録番号を取得してください。

歯科医院の患者は消費税の最終消費者となり、消費税の課税事業者とはなりませんので、領収書などにインボイスの登録番号を記載する必要がありません。しかし、金属屑の買い取り事業者は通常消費税の課税事業者とされますので、その金属屑の売却代金の領収書には登録番号を記載してください。



小林裕子副委員長

## 「マイナンバーカード+保険証」一体化は G7 で日本だけ なぜ独自路線？各国の現状と比べてみた

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/262212>



日本はデジタル後進国だからと政府が進めているマイナンバーカード普及策ですが、健康保険証と一体化させている国は G7

では日本だけということが分かったそうです。なぜ日本は強引に独自路線を歩もうとしているのでしょうか。

## 考察

情報の一元管理によって医療機関でもメリットが大きいのは確かですが、保険証廃止を一方的に推し進めるのはどうなのでしょう。必要性に関し納得いく説明がほしいものです。いずれにせよ、昨今取り沙汰されている紐

付けミスなどへの対応がスムーズ行われ、オン資を使用する我々がストレスなく受付業務できることを期待したいです。



永井亮委員

## 歯科医師法の一部を改正する政令を交付

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2767>

厚生労働省は6月2日、「歯科医師法施行令の一部を改正する政令」の公布について発表した。今回の改正では、第17条に歯学生が臨床実習で行う歯科医業についての内容が盛り込まれ、令和6年4月1日から施行されること。追加される項目は、以下の通りである。



## 考察

CBT(Computer Based Testing)と呼ばれる、歯学生の能力を測る試験に合格した者が臨床実習を行うことが

できる、というものを明文化したもので、歯学生の歯科医業を法的に位置づけることになりそうです。令和8年4月1日からは、共用試験の合格が歯科医師国家試験の受験資格の要件とされるなど、今後歯科医師を目指す学生にとっては少なからず影響がある改正だと考えられます。共用試験のあり方については、現在医道審議会歯科医師分科会で協議中とのことなので注目です。



三保浩一郎委員長

## トライアル雇用助成金(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/trial\\_koyou.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/trial_koyou.html)

「トライアル雇用」は、職業経験の不足などから就職が困難な求職者等を原則3か月間試行雇用することにより、その適性や能力を見極め、期間の定めのない雇用への移行のきっかけとしていただくことを目的とした制度です。労働者と企業がお互いを理解した上で無期雇用へ移行することができるため、ミスマッチを防ぐことができます。



## 考察

仕事上で頭を悩ませることの一つに雇用問題があるのではないのでしょうか。

雇用したけれども医院やスタッフとの相性が合わない、仕事ができないなどで解雇したいケースもあると思います。致し方なくスタッフを解雇する場合でも不当解雇とみなされ、慰謝料を請求されるリスクもあります。そのようなお悩みを解決してくれるのが「トライアル雇用」という制度です。しかも制度を利用することにより医院側が最大5万円の助成金を最長3か月受けることもできます。詳しくは担当の社会保険労務士にご相談ください。



小島将督理事

## 【公式】広島市歯科医師会広報チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

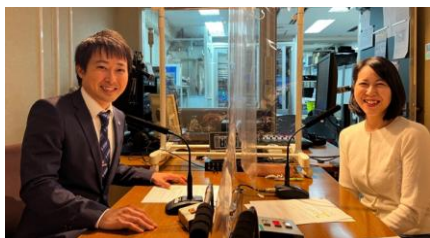


6月7日放送分

「第38回おくちの健康展」開催

広島市歯科医師会 豊田育星氏

<https://youtu.be/RVe0cnsW-Fg>

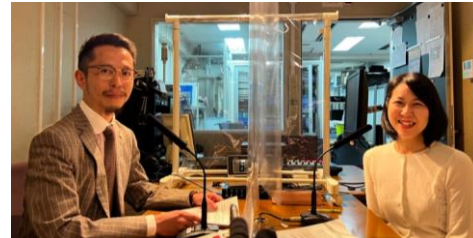


6月21日放送分

「子どもの歯並び いつ治す？」

広島市歯科医師会 土江雄治朗氏

<https://youtu.be/cAD-2Ufb7UY>



## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

8月2日放送分

「広島市歯科医師会の活動」

広島市歯科医師会 能美和基氏



広島市歯科医師会は、一般社団法人で広島市に歯科医院を開設する歯科医師によって1918年に設立されました。100年以上の歴史を持つ公益団体です。会員数は、現在420人を超えており、お口の健康から市民の皆さんの健康の保持・増進のため、啓発活動や健診事業など、さまざまな活動をしています。広島市歯科医師会の活動について、歯科医師の能美和基さんが話します。

8月16日放送分

「お口のお悩み相談」

広島市歯科医師会 若林大輔氏



お口のお悩み事はありませんか。「歯のクリーニングはなぜ何回も通院しないといけないの?」「子どもの口臭が心配」など、番組まで相談を寄せてください。広島市歯科医師会の副会長で歯科医師の若林大輔さんがリスナーから届いた「お口のお悩み相談」に回答します。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント  
友達募集中!



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。

広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

7月14日配信 MRONJに係るポジションペーパーが更新されました

7月17日配信 今夜のRCCカーブナイターは広島市歯科医師会提供!

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。



本稿を書いている時点で会長就任からおよそ1か月が経過いたしました。4年間副会長として会長の職務をそばで見してきたつもりでおりましたが、6月7月はあちこちで総会やら外部会議やらが満載で、思った以上に忙しいなあと感じています。早く仕事に慣れなくちゃ、と思う毎日です。

さて、今回は「言葉」というテーマでお届けしたいと思います。我々はネイティブな日本語話者ですから、日常生活において日本語を使用することに不自由は感じないのが普通です。集中して日本語に向き合わなくても、例えば運転中に流れているRCCラジオから「秋山打ったあ〜！」とアナウンサーが言えばすぐにおお！ってなりますし、新聞や雑誌に目を落とし、パラパラめくるだけでも何か気になる記事があれば目に止まります。このように普段は意識しなくても瞬間的に日本語を理解できる、と我々は思っているわけですが、果たして本当にそうでしょうか。

お役人が書いた文章というのは総じて読みにくい、わかりにくいと相場は決まっていますが、必要なことはきちんと書いてありますし、基本的には書いてあることが全てであって、所謂「解釈」の幅はさほどありません。例え

ば歯科診療特別対応加算の通知のイには、脳性麻痺「等」で身体の不随意運動や緊張が強く体幹の安定が得られない状態、とあります。これが「脳性麻痺で身体の不随意運動や〜」であれば脳性麻痺によるもの以外は認められない、ということになります。この「等」の1文字があることにより、パーキンソン病などその他の疾患によるものでも認めるよ、ということになります。また、歯周病処置の通知(2)には略〜特定薬剤を注入する場合は用法用量に従い使用〜略とあり、特定薬剤にペリオクリンを使用した場合においては、ペリオクリンの用法用量、すなわち「1週に1回、患部歯周ポケット内に充填する量を注入する」に従わなければなりません。「概ね1週に1回」とかではなく「1週に1回」と明記してありますから、同部位に中4日で使用した場合などは特定薬剤料は査定される、ということになります。

我々が読む機会のある「お役人の書いた文章」は当然厚労省が書いたもの、その多くは歯科点数表の解釈に記載されていることですが、上記のように1文字、1言により算定できる、できないが決まってくることもあります。それは当然我々の診療報酬に跳ね

会長コラム (第2回)

# 笑門來福 言葉

瓜生 賢

返ってくるものです。卑近な言葉で言えばメシのタネです。

そのメシのタネの算定の根拠となるのは青本の告示・通知です。ご承知のように保険医は歯科点数表に則り診療報酬を算定しなくてはなりません。指導の現場でよく言われることですが、「知らなかった」では済まされないのです。青本を隅から隅まで熟読せよ、とは申しませんが、ご自身が日常的に算定される項目についてだけでも、一度しっかりと読み込んで頂きたいと思えます。さらっと読み流すのではなく、きちんと読み解く。きっと先生方の算定、請求のお役に立つはずですよ。

なんだか会長コラムというよりは保険部コラムのようになってしまいましたが、歯科医師会会員としての半分以上の期間を保険部で過ごしておりますので、お許しください。これからも硬軟織り交ぜて書いていきたいと思えますので、拙コラムのご一読、よろしくお願ひいたします。

# 7月定例理事会報告

## 「部外報告」

- 6月22日 令和5年度広島県原爆障害対策協議会評議員会
- 6月29日 国保組合理事会
- 7月1日 中国デンタルショー2023
- ” 全国歯科大学同窓会広島県支部長会併設文月会
- ” 社会保険診療報酬支払基金再審査
- 7月4日 第2回四者協議会
- 7月5日 【Web】広島サミット県民会議第5回総会
- 7月6日 (県歯)会員サポート室会議
- ” (県歯)理事会
- ” 令和5年度保険指導医(歯科)打合せ会
- 7月7日 広島市学校保健会第2回理事会
- 7月8日 第54回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会 専務理事会議(川崎市)
- ” (県歯)郡市地区歯科医師会会長・専務理事合同会議
- ” (県歯)各部等総合委員会
- 7月9日 G7広島サミット開催協力に係る感謝状贈呈式
- 7月10日 広島赤十字・原爆病院地域医療支援病院運営委員会
- ” 【Web】令和5年度第1回広島圏域地域医療構想調整会議
- 7月13日 広島市役所挨拶(松井教育長・岩崎健康福祉局長・森川こどもみらい局長)
- ” RCCラジオCM録音立会(カープナイター)
- 7月14日 国保組合理事会
- 7月15日 (県歯)保険部懇話会
- 7月19日 広島県国保連合会歯科再審査部会
- 7月19-24日 広島県国保連合会歯科審査部会
- 7月25日 「元気じゃけんひろしま21(第3次)策定懇談会
- ” 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会「災害時医療救護検討委員会」
- 7月26日 RCCラジオとの打合せ
- ” 広島デンタルアカデミー専門学校来館挨拶(三宅学校長・香川学科長)
- 7月26-27日 社会保険診療報酬支払基金審査

## (連盟関係)

- 7月1日 松井かずみ後援会
- 7月13日 (県歯連盟)連盟四役・連盟ニュース合同委員会
- 7月15日 「広島市議会ひろしま未来会議」発足会

## 「総務関係」

- 6月21日 第2回支部長・副支部長会
- 6月24日 臨時理事会
- ” 第116回定時総会
- 6月27日 おくちの健康展反省会
- 6月28日 臨時理事会(新執行部)
- 7月5日 広島東洋カープ観戦の集い
- 7月12日 広島東照宮との打合せ
- 7月15日 B型肝炎抗原抗体検査
- 7月21日 地域歯科保健部納涼会
- 7月22日 中区支部夏季懇親会
- 7月24日 三役会

7月26日 定例理事会

## (慶弔関係)

### (入会退会関係)

- 6月21日 中区支部 川合晶子先生入会
- 6月27日 入会後面談(川合晶子先生)
- 7月7日 入会前面談(浅野真弥先生)
- 7月14日 入会前面談(岡田信輔先生)

### (県歯理事会関係)

- 7月6日 (県歯)理事会

### (1) 総務部 (大井手理事)

- 6月27日 休診レセプト点検
- ” 入会後面談(川合晶子先生)
- 6月28日 臨時理事会(新執行部)
- 7月7日 入会前面談(浅野真弥先生)
- 7月8日 (県歯)各部等総合委員会
- 7月12日 定例委員会
- 7月14日 入会前面談(岡田信輔先生)
- 7月19日 (県歯)医療管理部常任委員会

### (2) 学術部 (花岡理事)

- 6月28日 臨時理事会(新執行部)
- 7月8日 (県歯)各部等総合委員会
- 7月14日 定例委員会
- 7月25日 【Web】広島市連合地区地域保健対策協議会「災害時医療救護検討委員会」

### (3) 厚生部 (谷理事)

- 6月24日 臨時理事会
- ” 第116回定時総会
- 6月28日 臨時理事会(新執行部)
- 7月5日 広島東洋カープ観戦の集い
- 7月8日 (県歯)各部等総合委員会
- 7月12日 広島東照宮との打合せ
- ” (県歯)福祉厚生・育成部常任委員会
- 7月18日 定例委員会

### (4) 地域歯科保健部

- 6月24日 臨時理事会
- ” 第116回定時総会
- 6月28日 臨時理事会(新執行部)
- 7月8日 (県歯)各部等総合委員会
- 7月21日 定例委員会

### <地域保健> (土屋理事)

- 5月27日 (県歯)全国がん医科歯科連携DVD講習会
- 5月31日 中国新聞取材対応
- 6月1日 広島市障害者施策推進協議会

### <地域連携> (藤田理事)

- 6月26日 後期高齢者歯科健診協力医個別研修
- 6月27日 第38回おくちの健康展 反省会
- ” 令和5年度地域リハビリテーション専門職等基礎研修事前打合せ

- 6月29日 社会福祉法人福祉広医会評議委員会
- 7月4日 令和5年度地域リハビリテーション専門職等基礎研修
- 7月5日 第1回広島市モデル事業西区フレイルチェック活動実行委員会
- 7月6日 令和5年度第1回広島市社会福祉審議会高齢福祉専門分科会
- 7月8日 中広地域包括支援センター主催出前出張講座
- 7月13日 デイサービスセンター可部さきり施設開設面談

<学校保健> (細原理事)

- 6月27日 市教委との打合せ
- 7月4日 第2回四者協議会
- 7月7日 広島市学校保健会第2回理事会

(5) 広報部 (小島理事)

- 7月6日 校正委員会(だより7月号)
- 7月13日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー (放送日)

- 8月2日 「広島市歯科医師会の活動」  
広島市歯科医師会 能美和基氏
- 8月16日 「お口のお悩み相談」  
広島市歯科医師会 若林大輔氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数  
 一般サイト 訪問者 3,594 (累計 127,524)  
 ページビュー 12,406 (累計 1,512,916)  
 会員サイト 訪問者 562 (累計 29,926)  
 ページビュー 3,786 (累計 289,298)  
 LINE公式アカウント 登録者数7月18日 131名

(7) 特別委員会

- 7月26日 新興感染症対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

- 6月27日 相談 クリーニング後の診察について (50歳代女性)
- 6月30日 相談 部分義歯について
- 7月13日 相談 DV患者の治療費について (広島市配偶者暴力相談支援センター)

「協議事項」

- (1) 入会について (4名)  
中区支部の岡田信輔氏の入会について承認、中区支部1名、東区支部1名、南区支部1名継続審議中
- (2) 会費について (1名)  
終身会員診療状況変更による会費額変更について1名承認。
- (3) 令和5年度広島市保険講習会について  
日程について協議
- (4) クリスマスパティーについて  
令和5年12月23日18時よりANAクラウンプラザホテルにて開催決定となり、ゲストはものまねタレント松浦航大氏となった。
- (5) 新年互礼会について  
令和6年1月6日17時より歯科医師会館で開催決定となった。イベントとして和太鼓演奏を入れるか協議された。
- (6) 令和5年度広島市歯科医師会第1回学術講演会について  
令和5年10月13日(金)19時半より歯科医師会館にて行われる、広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学柳本惣市先生による講演会(睡眠呼吸障害における口腔内装置による治療の役割)について協議した。
- (7) HPについて  
継続協議
- (8) その他  
企業出展ブースへの協議

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net  
 広報部担当理事 小島将督 E-Mail: kojima.d.c@icloud.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba  
 本会PASS : 2622662  
 協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

